山口県宅老所・グループホーム協会　下関・萩・長門ブロック研修会

アンケート集計結果

１．性別　　男性：3名　　　　　女性：13名

２．年齢　　20代：1名

　　　　　　30代：1名

　　　　　　40代：3名

　　　　　　50代：6名

　　　　　　60代：4名

　　　　　　70代：1名

３．職種　　　介護職員：７名

　　　　　　　看護師：1名

　　　　　　　管理者：3名

４．本日の研修はいかがでしたか。

　　　　　大変よかった：11名

　　　　　よかった：5名

　　　　　普　通：0名

　　　　　悪かった：0名

　（理由）

　　　・スライドに文字だけでなく図や動画があり、実技もあってとてもわかりやすかったです。

　　　・レジュメにそって、それぞれわかりやすく、データをもとに説明されたり、飲み込む際の映像もわかりやすかった。

　　　・勤務している施設内にも嚥下障害のある方がいます。どのような工夫や気配りをすればその方のＱＯＬ保持につながるのか考えさせられた研修でした。

　　　・スライドを見る事により、食べ物が食道に通る状態が良くわかった。

　　　・今までの自分のやり方には少しいけなかった点があった事を思います。

　　　・実際に体験ができ、良かったです。

　　　・講師の方の説明も解かりやすくよかったです。

　　　・嚥下状態が良く理解できた。

　　　・実習が経験できたのがとてもよかった。

　　　・嚥下に対しての研修を受けたことがなかったので検査スクリーニングなどの方法や

嚥下障害のしくみがわかり、よかった。

　　　・実技がわかりやすく楽しめた。

　　　・実技をして普段は介助する方ですが、介助される方の気持ちがよくわかった。

５．本日の研修で一番印象に残ったことは、何ですか。

　　　・食べさせてもらう方で目隠しをされるとけっこう怖いんだなと思いました。

　　　　また、咀嚼回数が疲労度につながることが勉強になりました。

　　　・自分自身が嚥下障害の方の体験ができたこと。

　　　・普段の介助の仕方が正しいのか、利用者に負担んをかけていないか。

　　　・自ら嚥下の体験が出来て良かった。

　　　・食べさせ方について。

　　　・体験により、介護される側の気持ちがほんの少しですがわかった気がしました。

　　　・30℃の傾斜で嚥下してもよいと知った事。

　　　・食材（もち）について。

　　　・嚥下体験。

　　　・実技で介助される方の気持ちがよくわかりました。

　　　・介助する機会があれば、今日のことを参考にします。

　　　・キザミが必ずしも良いわけでないこと実体験できた。

　　　・食事介助の方法。

　　　・嚥下反射を確認して介助する。

　　　・いいポジションで適切な形態の物を提供する。

６．ブロックでの活動・研修についてご意見、ご要望等があればご記入下さい。

　　　・はじめて参加しました。良い機会をありがとうございます。また宜しくお願い

します。